



発行番号：第13A2389号
発行日：平成25年10月10日

品質性能試験報告書

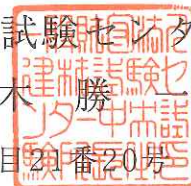
依頼者 株式会社 カ ナ イ

埼玉県八潮市西袋717-1

試験名称 枠組壁工法用接合金物を使用した接合部の引張試験

標記試験結果は本報告のとおりであることを証明します。

一般財団法人 建材試験センター
中央試験所長 黒木 勝
埼玉県草加市稲荷5丁目21番20号



品質性能試験報告書

試験名称	枠組壁工法用接合金物を使用した接合部の引張試験						
依頼者	株式会社 カナイ						
試験体 (依頼者 提出資料)	1. 接合金物 商品名：フィットコーナー 寸法：87.0×35.0×80.0mm，厚さ2.3mm 2. 接合具 たて枠側：木ねじφ6.0×75mm，4本使用 床根太側：木ねじφ6.0×150mm，2本使用 3. 使用枠組 たて枠：枠組壁工法構造用製材，JAS乙種スタンダード，樹種；S-P-F，寸法；38×89mm 上枠：枠組壁工法構造用製材，JAS乙種スタンダード，樹種；S-P-F，寸法；38×89mm 頭つなぎ：枠組壁工法構造用製材，JAS乙種スタンダード，樹種；S-P-F，寸法；38×89mm 床根太：枠組壁工法構造用製材，JAS乙種スタンダード，樹種；S-P-F，寸法；38×140mm 4. 試験体数 7体（うち1体予備試験体） 参 照：図-1及び図-2（試験体）						
試験方法	「2007年 枠組壁工法建築物構造計算指針」（監修/国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，発行/社団法人日本ツーバイフォー建築協会）の第V編「材料及び接合部の許容応力等を定める試験・評価方法とその解説」の1.2.3「接合部の基準許容応力および基準終局耐力並びに基準剛性（繰返し加力接合部試験によるもの）」に準じて行った。試験方法を図-3に示す。						
試験結果	試験体記号		試験許容応力時		試験終局耐力		試験剛性 (K) kN/cm
	記号	番号	(Py) kN	(δy) mm	(Pu) kN	(δu) mm	
	FIC	0	8.7	2.2	15.0	28.5	39.5
		1	9.3	1.9	15.8	22.9	48.9
		2	9.7	2.5	15.5	25.6	38.8
		3	9.6	1.6	16.1	17.7	60.0
		4	9.8	2.5	15.4	22.4	39.2
		5	9.5	1.6	16.1	20.1	59.4
		6	10.5	2.0	17.3	19.9	52.5
		平均	9.7	2.0	16.0	21.4	49.8
	標準偏差 s	0.41	0.41	0.69	2.78	9.36	
	5%下限値	8.7		14.4		—	
	基準値	基準許容応力 5.8	—	基準終局耐力 14.4	—	基準剛性 49.8	
	(注) 基準許容応力は試験許容応力の5%下限値に2/3を乗じた値であり，基準終局耐力は試験終局耐力の5%下限値である。また，基準剛性は試験剛性の平均値である。 参 照：表-1（2/3Pmax時，最大荷重時及び破壊状況） 図-4及び図-5（荷重-変位曲線） 写真-1～写真-6（破壊状況）						
試験期間	平成25年 9月26日						
担当者	構造グループ 統括リーダー 川上 修 主 任 上山 耕平 庄司 秀雄（主担当）						
試験場所	中央試験所						